

# 定期監査の結果に基づく措置

(令和元年11月12日実施)

税務部納税課

調査事項	収入について																																												
指摘事項	<p>市税の徴収について、収入率が現年度分は、ほぼ横ばいで推移しているが、過年度分は下降傾向である。収入未済額としては減少傾向であり、徴収努力は見受けられる。しかしながら、収入未済額が依然として多額となっているため、負担の公平性及び財源確保の見地から、引き続き納付相談・指導を積極的に取り組み収入未済額の縮減に一層の努力をされたい。</p>																																												
措置	<p>市税の徴収については、次のとおり実施し、収入未済額の回収に努めました。</p> <p>今後とも負担の公平性及び財源確保の見地から、納付呼びかけ、納付相談、滞納処分等を積極的に行い、収入未済額の縮減及び収納率向上に努めてまいります。</p> <p>(実施した内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ収納（市県民税普通徴収，固定資産税，軽自動車税） 納期内納付率 87.67%（前年度 87.75%）</li> <li>・地方税共通納税システム収納（市県民税特別徴収，法人市民税，事業所税） 1,260件 2億6,590万円</li> <li>・電話勧奨（納税呼びかけセンター） 2,249件</li> <li>・口座振替不能通知（納税呼びかけセンター） 4,701件</li> <li>・休日納税相談 7月，12月の各1日（日曜日）実施 188万円納付</li> <li>・差押件数 1,846件（うち預金集中差押 444件）</li> <li>・差押金額 3億1,563万円 換価徴収額 1億3,970万円</li> <li>・岡山県滞納整理推進機構への案件引継（89件） 5,518万円徴収</li> <li>・相続人不存在等管理人の選任 6件（申立件数 8件）</li> </ul> <p>令和元年度の収入状況</p> <p style="text-align: center;">令和元年9月末日現在 <span style="float: right;">(単位：円，%)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 20%;">調定額</th> <th style="width: 20%;">収入済額</th> <th style="width: 20%;">収入未済額</th> <th style="width: 25%;">収入率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度分</td> <td style="text-align: right;">79,296,179,408</td> <td style="text-align: right;">54,389,161,596</td> <td style="text-align: right;">24,907,017,812</td> <td style="text-align: center;">68.6</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td style="text-align: right;">1,264,430,568</td> <td style="text-align: right;">250,281,529</td> <td style="text-align: right;">1,014,149,039</td> <td style="text-align: center;">19.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">80,560,609,976</td> <td style="text-align: right;">54,639,443,125</td> <td style="text-align: right;">25,921,166,851</td> <td style="text-align: center;">67.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和元年度決算（見込） <span style="float: right;">(単位：円，%)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 20%;">調定額</th> <th style="width: 20%;">収入済額</th> <th style="width: 15%;">不納欠損額</th> <th style="width: 20%;">収入未済額</th> <th style="width: 10%;">収入率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度分</td> <td style="text-align: right;">84,696,299,435</td> <td style="text-align: right;">84,313,136,248</td> <td style="text-align: right;">24,658,972</td> <td style="text-align: right;">358,504,215</td> <td style="text-align: center;">99.5</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td style="text-align: right;">1,261,320,306</td> <td style="text-align: right;">419,200,209</td> <td style="text-align: right;">137,261,853</td> <td style="text-align: right;">704,858,244</td> <td style="text-align: center;">33.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">85,957,619,741</td> <td style="text-align: right;">84,732,336,457</td> <td style="text-align: right;">161,920,825</td> <td style="text-align: right;">1,063,362,459</td> <td style="text-align: center;">98.6</td> </tr> </tbody> </table>	区分	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	現年度分	79,296,179,408	54,389,161,596	24,907,017,812	68.6	滞納繰越分	1,264,430,568	250,281,529	1,014,149,039	19.8	計	80,560,609,976	54,639,443,125	25,921,166,851	67.8	区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	現年度分	84,696,299,435	84,313,136,248	24,658,972	358,504,215	99.5	滞納繰越分	1,261,320,306	419,200,209	137,261,853	704,858,244	33.2	計	85,957,619,741	84,732,336,457	161,920,825	1,063,362,459	98.6
区分	調定額	収入済額	収入未済額	収入率																																									
現年度分	79,296,179,408	54,389,161,596	24,907,017,812	68.6																																									
滞納繰越分	1,264,430,568	250,281,529	1,014,149,039	19.8																																									
計	80,560,609,976	54,639,443,125	25,921,166,851	67.8																																									
区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率																																								
現年度分	84,696,299,435	84,313,136,248	24,658,972	358,504,215	99.5																																								
滞納繰越分	1,261,320,306	419,200,209	137,261,853	704,858,244	33.2																																								
計	85,957,619,741	84,732,336,457	161,920,825	1,063,362,459	98.6																																								

1 令和元年度の収入状況について

令和元年度市税収納状況について、決算見込みは

・予算額 840億2千万円余 ・収入額847億3千万円余であり  
約7億1千万円が予算を超えて収入されております。

収納率につきましては、

・平成30年度 98.1% ・令和元年度 98.6%

うち、滞納繰越分については

・平成30年度 29.4% 4億8千万円余

・令和元年度 33.2% 4億1千万円余 であり、

収納率については前年実績を上回っております。

収入未済額につきましては、

・平成30年度 14億円余 ・令和元年度 10億円余

差額4億円弱の減額であります。

なお、令和元年度の不納欠損額は1億6千万円余となっております。

2 負担の公平性及び財源確保の見地からの収入未済額の縮減に向けた取組について

(1) 納付環境の整備について

令和元年10月からeLTAXを利用した地方税共通納税システムの運用が始まり、市県民税（特別徴収）、法人市民税、事業所税について、事務所等からの電子納税が可能となっております。

(2) 現年度分未納者への対応について

平成28年度からの特別徴収推進の徹底に合わせて開始した「納税呼びかけセンター」による事業所への早期納付を促す電話案内に引き続き取り組みました。

また、令和元年7月より、残高不足により口座振替ができなかった未納者全員に対し、コンビニ納付書の送付を開始しました。その他、休日納税相談の実施や電話、文書等により、個々の実情に応じたきめ細かい納税折衝に努め、滞納への未然防止及び累積滞納額の減少に努めました。

(3) 高額滞納者への対応について

市税の高額（70万円以上）又は長期滞納者には、搜索や不動産公売等の滞納処分を積極的に実施し、また、職員派遣（1名）している岡山県滞納整理推進機構に事務引継を行い、困難事案の縮減を図るなど、収納額の確保と徴収技術の向上に努めました。

(4) 低額滞納者への対応について

滞納額が低額（70万円未満）で再三の催告にも応じない滞納者については、給与や年金等の継続債権や預金集中差押の実施による効率的、効果的な滞納整理に努めました。